

# 中学校外国語科学習指導案

広島市立〇〇中学校  
教諭 〇〇 〇〇

- 1 期 間 令和〇年〇月〇日 (〇) ~ 〇年〇月〇日 (〇)
- 2 学年・学級 3年〇組 (〇名)
- 3 単元名 ONE WORLD ENGLISH COURSE 3 Lesson 5 Being True to Ourselves  
Lesson 6 Why do We Have to Work
- 4 単元について

## (1) 教材観

本単元は、Lesson5 と Lesson6 を一つのまとまりとし、2つの単元を通して、「話すこと[やり取り]」の力を継続して育成することを目指す。Lesson5 は、家族のことや、進路選択など、生徒たちにとって身近な悩みや葛藤を題材としている。また Lesson6 では、働く意義やワークライフバランスなどの社会的な話題が取り上げられており、いずれも、卒業後の進路選択を控えている中学校3年生にとって、題材を自分ごととして捉えやすく、自分の考えや気持ちを表現するのに適していると言える。したがって、本単元を平成29年度告示の学習指導要領外国語科の目標「話すこと[やり取り]」の指導として位置づけ、コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、自分の考えや気持ちなどを伝え、それに対する意見や質問に対応しながら会話を継続・発展することに繋げることができる教材である。

## (2) 生徒観

(略)

## (3) 指導観

本単元では、生徒たちが自分の考えや気持ちを伝え合う言語活動を、楽しみながら何度も取り組むことで、やり取りに対する苦手意識を払拭させ、やり取りの力を育成したい。

さらに、実際のコミュニケーション場面を想定した言語活動を実施するために、本単元においては、タスクの定義を参考にした言語活動を中心とする単元構成で授業を進める。また、生徒が上手く発話できなかった要因を考えると、実際のコミュニケーションの場面で会話をさせるだけでは上手くやり取りができないことが予想される。そこで、生徒が話す内容を想定し、それを英語で表現できるようにするため、生徒が発話のどの段階につまずいているかに着目し、それぞれの段階に必要な手立てを講じていく必要がある。そこで、発話のプロセスに着目した指導を行う。

### ア 実際のコミュニケーションを想定した言語活動（タスク）

実際のコミュニケーション場面において、自分の考えや気持ちを伝え合うことができるようになるためには、現実社会での言語使用を疑似体験するような言語活動を行う必要があると考える。つまり、文法事項などの言語形式ではなく、意味内容の伝達に焦点をおいた言語活動を中心とした授業を実践していかなければならない。そのため、本単元では、高島（2005）による、次のようなタスクの定義を参考にした言語活動を実施した。

- (i) 言語を使う目的がある。
- (ii) 意味内容の伝達が第一義である。
- (iii) 話し手間に、情報・考えなどの何らかの差がある。
- (iv) 学習者が自分で考えて言語を使う。

具体的には、Lesson5 で生徒にとって身近である「悩み相談」をテーマとしたタスクを扱い、Lesson6 では、中学校の校則や、電子マネーの是非についてなど、生徒の日常における社会的なテーマを中心としたディスカッションのタスクを扱う。

#### イ 発話のプロセスに着目した指導

現実社会での実際の場面を想定し、実際のコミュニケーションと同質の活動を行うタスクにおいて、やり取りを苦手とする生徒たちは、上手くコミュニケーションが取れないことが予想される。そのため、本単元においては、話す内容を大まかに決める「概念化」、話したい内容を英語に変換する「形式化」、英語を発音する「調音化」の3段階から成る発話のプロセスに着目した指導を取り入れる。中でも、「話す内容がもてない」「英語の表現の仕方が分からない」といった生徒の課題に基づき、「概念化」と「形式化」の2つへのアプローチを行う。

話す内容を大まかに決める「概念化」を促すために、話の展開の仕方を理解し、発話に見通しをもたせるための工夫として①キャッチボールワークシートを取り入れる。生徒たちは実際の会話を始める前に、話す内容と話の展開を考えながらワークシートに記入する。次に、記入したワークシートを基に、生徒同士で、発話内容の検討、整理をする時間を設定することで、生徒たちはやり取りを始める前に、発話内容について確認しあったり、他の生徒からアイディアを得たりしながら、予めある程度話す内容をもってタスクに取り組むことができるようにする。

また、話す内容を英語にする「形式化」を促すために、文レベルやフレーズレベルで、同じことを何度も話させることにより、すぐに使える表現を増やしていく必要がある。そのため、1つ目に、やり取りを支える技能のドリル練習である②Quick Response Practice (以下 QRP) を取り入れる。QRP とは、やり取りを支えるコミュニケーション方略の技能である、反応や確認、つなぎ言葉や基本的な質問の投げかけを、会話に対応しながら即時的に練習する活動である。一人が予め用意した英文を発話し、それに対してもう一人が、その場で適切な反応や応答をしたり、質問をしたりする。このパターンを 15 種類程度準備し、毎授業帯活動として取り入れ、繰り返し練習することで、やり取りを支える表現や基礎的な技能を定着させていく。

「形式化」を促す 2 つ目の手立てとして、タスクと語彙や表現の中間指導の繰り返しを行う③Better Better Talk を取り入れる。タスクを1回の授業の中で複数回繰り返し、その合間に、活動中の言語使用についてフィードバックを与える中間指導を取り入れる。こうした活動の繰り返しを、「会話がより良く改善されていく」という意味で“Better Better Talk”と名付け、生徒に分かりやすく示す。先にも述べたように、実際のコミュニケーション場面で即時的に英語で表現できるのは、単語を一つずつ繋げて話しているのではなく、どこかで一度話したことがある表現を文レベルや、フレーズレベルで取り出して発話を行っているからである。そのため、授業における実際のコミュニケーション場面においては、このように対話の流れをある程度固定し、やり取りを繰り返すことで、何度も同じ表現を用いる機会を与え、使える表現にしていくことが必要であると考えられる。その際、中間指導を段階的なものにしたたり、変化を与えたりして、生徒が成長を感じながら、飽きずに取り組めるように工夫する。

表2 発話のプロセスと具体的な手立て

| 発話のプロセス | 具体的な手立て  |
|---------|--|
| 概念化     | ①話の展開を理解できるワークシートの工夫：キャッチボールワークシート   |
| 形式化     | ②やり取りを支える表現のドリル練習：Quick Response Practice (QRP)<br>③タスクと語彙や表現の中間指導の繰り返し活動：Better Better Talk |

#### 5 単元の目標

Lesson5～Lesson6 を通して育てたい「話すこと[やり取り]」の能力【思考・判断・表現】コミュニケーションを行う目的や場面、状況等に応じて、事実や自分の考え、気持ちなどを伝

え、それに対する質問や意見に対応しながら会話を継続・発展することができる。

## 6 単元の評価規準 【話すこと[やり取り]】

### 【思考・判断・表現】

コミュニケーションを行う目的や場面、状況等に応じて事実や自分の考え、気持ちを伝え合っている。また、質問や意見に対応しながら会話を継続・発展させている。

## 7 単元指導計画・評価計画(全11時間)

| 時 | ねらい (■)、言語活動等 (・)   | 知<br>技 | 思<br>判<br>表 | 主<br>体<br>態 | 評<br>価<br>方<br>法 |
|---|---|--------|-------------|-------------|------------------|
| 1 | <ul style="list-style-type: none"> <li>■ 単元の目標を理解し、学習に見通しをもつ。</li> <li>・ 単元目標の確認</li> <li>・ 新出語彙の練習</li> <li>・ QRP</li> <li>・ リスニング</li> <li>・ 振り返り</li> </ul>  |        |             |             |                  |
| 2 | <ul style="list-style-type: none"> <li>■ どんなことに悩んでいるのか英語で聞き出すことができる。</li> <li>・ 新出語彙の練習</li> <li>・ QRP</li> <li>・ 悩み相談のタスク テーマ「進路の悩み」</li> <li>・ 会話内容のリフレクション</li> <li>・ 振り返り</li> </ul>                  |        |             |             |                  |
| 3 | <ul style="list-style-type: none"> <li>■ 共感しながら悩みを英語で聞くことができる。</li> <li>・ 新出語彙の練習</li> <li>・ QRP</li> <li>・ 悩み相談のタスク テーマ「食文化に関する悩み」</li> <li>・ 会話内容のリフレクション</li> <li>・ 振り返り</li> </ul>                    |        |             |             |                  |
| 4 | <ul style="list-style-type: none"> <li>■ 相手の悩みを解決する的確なアドバイスが英語でできる。</li> <li>・ 新出語彙の練習</li> <li>・ QRP</li> <li>・ 悩み相談のタスク テーマ「恋愛の悩み」</li> <li>・ 会話内容のリフレクション</li> <li>・ 振り返り</li> </ul>                   |        |             |             |                  |
| 5 | <ul style="list-style-type: none"> <li>■ これまでの悩み相談のスキルを生かして、相手の悩みを解決する良いアドバイスが英語でできる。</li> <li>・ 新出語彙の練習</li> <li>・ QRP</li> <li>・ 悩み相談のタスク テーマ「自分の悩み」</li> <li>・ 会話内容のリフレクション</li> <li>・ 振り返り</li> </ul> |        |             |             |                  |
| 6 | <ul style="list-style-type: none"> <li>■ 現実とは異なることを仮定して述べる表現（仮定法）の意味と形式を理解する。</li> <li>・ 前時の復習</li> <li>・ 仮定法の意味と形式についての説明と練習</li> <li>・ 振り返り</li> </ul>  |        |             |             |                  |
| 7 | <ul style="list-style-type: none"> <li>■ 「東原中学校の単元テストに賛成か反対かについて英語でディスカッションできる」</li> <li>・ 新出語彙の練習</li> <li>・ モデル対話の提示</li> <li>・ ディスカッションのタスク</li> <li>・ 会話内容のリフレクション</li> <li>・ 振り返り</li> </ul>         |        |             |             |                  |
| 8 | <ul style="list-style-type: none"> <li>■ 「日本の中学校の規律について考える」</li> <li>・ 新出語彙の練習</li> <li>・ QRP</li> <li>・ ディスカッションのタスク</li> <li>・ 会話内容のリフレクション</li> <li>・ 振り返り</li> </ul>                                  |        |             |             |                  |
| 9 | <ul style="list-style-type: none"> <li>■ 「スマホを中学校に持ってくることの是非について考える」</li> <li>・ 新出語彙の練習</li> <li>・ QRP</li> <li>・ ディスカッションのタスク</li> </ul>   |        |             |             |                  |

|    |  |  |   |  |          |
|----|--|--|---|--|----------|
|    | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 会話内容のリフレクション</li> <li>・ 振り返り</li> </ul>   |  |   |  |          |
| 10 | <ul style="list-style-type: none"> <li>■ 「電子マネーと現金のどちらが使っていきたいかについて考える」</li> <li>・ 新出語彙の練習</li> <li>・ QRP</li> <li>・ ディスカッションのタスク</li> <li>・ 会話内容のリフレクション</li> <li>・ 振り返り</li> </ul> |  |   |  |          |
| 11 | <ul style="list-style-type: none"> <li>■ 「人は何のために働くのかについて考える」</li> <li>・ 新出語彙の練習</li> <li>・ QRP</li> <li>・ ディスカッションのタスク</li> <li>・ 会話内容のリフレクション</li> <li>・ 振り返り</li> </ul>           |  |   |  |          |
| 後日 | パフォーマンステスト   |  | ○ |  | ディスカッション |

※ ここでは指導に生かすための評価は示しておらず、記録に残す評価のみ示している。

## 8 評価の方法

- (1) 内容 ペアおよびグループによるディスカッション
- (2) 準備する課題

アメリカから来た留学生が、日本の中学校に掃除や給食、制服などがあることに驚いています。何のためにあるのかという留学生の疑問をきっかけに、生徒会で、それらが本当に必要なのかということを見直すことになりました。日本の中学校には本当にそれらが必要なのか、より良い学校づくりのために意見交流をなさい。

- ペアによるやり取り 『「中学校に掃除(給食)は必要かどうか」について、自分の立場を明確にし、考えが相手に伝わるように意見交流をなさい。』
- グループによるやり取り 『「中学校に制服は必要かどうか」について、自分の立場を明確にし、考えが相手に伝わるように意見交流をなさい。』

### (3) 採点(評価)の基準【思考・判断・表現】

- a: 3つの条件を満たしている。さらに条件2において、以下の3つの視点のうちいずれかに該当する。
- ①自分の経験から述べている。
  - ②複数の理由を挙げて述べている。
  - ③理由を詳細に述べている。
- b: 3つの条件を満たしている。
- c: 「b」に満たない。

条件1. 目的・場面、状況に応じて自分の考えや気持ちを伝えている。  
 条件2. 自分の考えや気持ちを理由とともに伝えている。  
 条件3. 話を継続・発展させるために、つなぎ言葉を用いたり、質問をしたりしている。

- 【思考・判断・表現】において「満足できる」状況 a (生徒2)、及び「概ね満足できる」状況 b (生徒1) と判断する具体例 ※      部は a 基準に該当する部分。

|             |  |
|-------------|--|
| デ<br>イ<br>ス | 生徒1: <u>I think we need school lunch.</u> (条件1) <u>Because it's healthy.</u> (条件2)<br>生徒2: <u>I don't agree with your idea.</u> (条件1) <u>As you said, school lunch is healthy,</u> |
|-------------|--|

|   |   |
|---|---|
| カ<br>ツ<br>シ<br>ョ<br>ン<br>1                | <p><u>but it's not delicious.</u> (条件2)</p> <p>生徒1 : <u>So, you don't think we need school lunch, right?</u> (条件3)</p> <p>生徒2 : <u>No. We don't need school lunch.</u> (条件1)</p> <p><u>I want to bring our own lunch.</u> (条件1)</p> <p>生徒1 : <u>Are you sure?</u> (条件3)</p> <p>生徒2 : Yes. <u>③If we bring our own lunch, we can eat as much as we want. ①②School lunch is not enough for me. I want to eat a lot.</u> (条件2)</p> <p><u>Well, do you have any other reasons?</u> (条件3)</p>  |
| デ<br>イ<br>ス<br>カ<br>ッ<br>シ<br>ョ<br>ン<br>2 | <p>生徒1 : <u>I don't think we need school uniforms.</u> (条件1)</p> <p><u>Because it's not cute.</u> (条件2)</p> <p>生徒2 : <u>Are you sure?</u> (条件3) <u>I don't agree with your idea. I think school uniforms are necessary because it's convenient.</u> (条件1) (条件2)</p> <p>生徒3 : <u>Me, too.</u> (条件1)</p> <p>生徒1 : <u>Do you have another reason?</u> (条件3)</p> <p>生徒2 : <u>②③Yes. If we don't have school uniforms, we have to change our clothes every day. That's more expensive.</u> (条件2)</p> <p>生徒1 : <u>I see... (生徒3に対して) why do you think school uniforms are necessary?</u> (条件3)</p> <p>生徒3 : <u>Because school uniforms are cheaper than my own clothes.</u> (条件2)</p> |

(4) 「努力を要する状況」 (c) と判断した生徒に対しての手立て

コミュニケーション方略の補助シートを用意し、徐々に補助シートから目を離して発話できるよう指導する。また、話す内容をワークシートに整理し、見ながら話すことから始め徐々にシートに頼らず発話できるよう指導する。

9 指導過程 (全 1 1 時間)

|  |
|--|
| 単元名 Lesson5 Being True to Ourselves 1 / 1 1 時間<br>ねらい 単元の目標を理解し、学習に見通しをもつ。 |
|--|

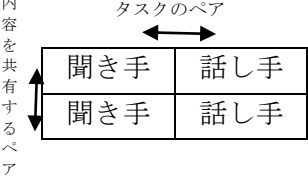
|   | 学習活動   | 指導上の留意点及び教師の支援  | 評価規準<br>(評価方法) |
|---|--|---|----------------|
| 5分  | 1 導入<br>・ あいさつ<br>・ Small Talk                               | ・ 既習事項の定着を図るために、英語でのやり取りを行う。  |                |
| 5分  | 2 単元目標の確認  | ・ ALT とやり取りをしている場面の映像を見せることで、2 単元を通して目指す姿の具体的なイメージを持たせる。  |                |
| <p>JTE : 日本人英語教員 ALT : 外国語指導助手</p> <p>JTE: Shana, do they have school uniforms in junior high schools in Jamaica?<br/>           ALT: Yes, they do.<br/>           JTE: I see. In Japan, some schools have uniforms and some do not.<br/>           Shana, do you think school uniforms are necessary?<br/><br/>           ALT: I think so.<br/>           JTE: Why do you think so?<br/>           ALT: Because you don't have to choose your clothes every day. It's convenient.<br/>           JTE: That's for sure.<br/>           ALT: Are you against uniforms in junior high schools?<br/>           JTE: Yes, I am.<br/>           ALT: Why?<br/>           JTE: Because they are quite expensive.<br/>           ALT: Is it? But it costs more to buy a different clothes.<br/>           JTE: I don't think so. Because junior high school students grow up and need to change their uniforms. It's not economical.</p> |  |   |                |
|   | 3 本時のめあてを確認する  |   |                |
| <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 0 auto;"> <p>考えや気持ちを尋ねたり、伝えたりして会話を継続・発展するために、どうすればよいかを考えよう。</p> </div>   |  |   |                |
| 10分   | 4 新出語彙の練習<br>・ 全体で発音・意味の確認<br>・ ペアで発音・意味の確認                  | ・ 単語の発音と意味の確認は全体→ペアと学習形態を変えて行うことで、インプットからアウトプットの流れの中で段階的な理解を図る。   |                |
| 15分   | 5 やり取りを支える表現のドリル練習<br>・ ペアでドリル練習を行う。(別紙 1-1) (別紙 1-2) (別紙 2) | <div style="border: 2px solid black; padding: 2px; display: inline-block; margin-bottom: 5px;">②QRP</div> ・ 初めて行うため、時間をかけて丁寧な指導を行う。 |                |

|  |                              |   |  |
|--|------------------------------|---|--|
| 10分  | 6 リスニング<br>・ モデル対話を再度聞く      | ・ 悩みを受ける際に必要なポイントや話の展開を確認することで、悩み相談のタスクのイメージを持たせる。                  |  |
| <p>JTE: Hi, Shana. You look depressed. ①What's wrong?<br/>         ALT: The principal invited me to go to a sushi restaurant, but I can't eat raw fish.<br/>         JTE: ②That's a problem. ①When are you going?<br/>         ALT: Next Saturday.<br/>         JTE: ①Have you answered him yet?<br/>         ALT: Not yet.<br/>         JTE: ②What do you want to do about it, Shana?<br/>         ALT: I can't say no to the principal because he's been so good to me.<br/>         JTE: Yes.<br/>         ALT: But I don't want to eat raw fish.<br/>         JTE: I see. Hmm. Then ③why don't you eat eggs or tuna mayo?<br/>         ALT: I can't do that. This isn't conveyor-belt sushi.<br/>         JTE: No way!<br/>         ALT: It's this restaurant. Look! Probably an expensive restaurant.<br/>         JTE: Wow! Definitely expensive! ③If I were you, I wouldn't say no.<br/>         ALT: I know, right?<br/>         JTE: Let me see... is he always nice and kind to you?<br/>         ALT: Yes, he is. He always helps me.<br/>         JTE: Does he? Then ③you should honestly tell him you can't eat raw fish.<br/>         ALT: OK.<br/>         JTE: ③How about asking him to take you to a yakiniku restaurant?<br/>         ALT: That's a good idea!</p> |                              |   |  |
| <p style="text-align: center;">悩みを受ける際のポイント</p> <p>① 相手の悩みをうまく聞き出す…What's wrong? / When are you going there?<br/>         Have you answered him yet? /</p> <p>② 相手の気持ちに寄り添う…That's a problem / What do you want to do about it, Shana?</p> <p>③ 的確なアドバイスをする など…Why don't you eat eggs or tuna mayo?<br/>         If I were you, I wouldn't say no.<br/>         You should honestly tell him you can't eat raw fish.<br/>         How about asking him to take you to a yakiniku restaurant?</p>   |                              |   |  |
| 5分   | 6 振り返り<br>・ タブレットで本時の授業を振り返る | ・ ドリル練習で反応や質問などができたか、また悩み相談を受ける際に必要なポイントを理解できたかを振り返ることで、次回の学習につなげる。 |  |

単元名 Lesson5 Being True to Ourselves 2 / 1 1 時間  
ねらい どんなことに悩んでいるのか英語で聞き出すことができる。

|                                     | 学習活動  | 指導上の留意点及び教師の支援  | 評価規準<br>(評価方法) |
|-------------------------------------|---|---|----------------|
| 1分                                  | 1 導入<br>・ あいさつ  |   |                |
| 1分                                  | 2 本時の目標の確認<br>・ 本時のめあてを確認する   |   |                |
| 的確なアドバイスをするために、悩みについて詳しく聞き出すことができる。 |   |   |                |
| 5分                                  | 3 語彙の確認<br>・ ペアで確認  | <ul style="list-style-type: none"> <li>解答できた単語を得点化することで学習意欲を喚起する。</li> </ul>  |                |
| 7分                                  | 4 やり取りを支える表現のドリル練習<br>・ ペアでドリル練習を行う。(別紙1-1) (別紙1-2) (別紙2)   | <ul style="list-style-type: none"> <li>上手く活動ができていないペアには、サポートシート(別紙1-1) (別紙1-2)を渡すことで、状況に応じてリストから自分で表現を選んで言えるように支援する。</li> </ul>                             |                |
|                                     |   | <b>②QRP</b>   |                |
| 2分                                  | 5 悩み相談のタスク<br>・ モデル対話を視聴する。   | <ul style="list-style-type: none"> <li>前時を振り返ることで、悩み相談において大切なポイントを確認し、その中でも相手の悩みを聞き出すために上手く質問することが本時の目標であると理解させる。</li> </ul>                                |                |
| 悩みの内容：中学生の進路の悩み                     |   | 悩み相談のポイント<br>①相手の悩みを上手く聞き出す<br>②相手の気持ちに寄り添う<br>③的確なアドバイスを   |                |
| 3分                                  | <ul style="list-style-type: none"> <li>ペアで、1人が話し手、もう1人が聞き手となり、それぞれの会話の内容をワークシートに整理する。</li> </ul> <div style="text-align: center;">           タスクのペア<br/> </div> | <ul style="list-style-type: none"> <li>悩みを考える負荷を軽減するため、悩みの概要を記した用紙(資料1)を配付し、必要に応じて使用させる(悩みの詳細は自分で考えてもよいこととする)。資料1を参考にして話す内容をワークシート(別紙3-1)に整理させる。</li> </ul> |                |
|                                     |   | <b>①キャッチボールワークシート</b>   |                |
| 2分                                  | <ul style="list-style-type: none"> <li>他のペアの同じ役割の生徒同士でワークシートを見せあいながら話の内容を共有する。</li> </ul>   | <ul style="list-style-type: none"> <li>英文を丸暗記したり、英文を見なくても話せるようにするために、英語ではなく日本語でメモ程度に書くように指導する。</li> </ul>   |                |
| 2分                                  | <ul style="list-style-type: none"> <li>他のペアの同じ役割の生徒同士でワークシートを見せあいながら話の内容を共有する。</li> </ul>   | <ul style="list-style-type: none"> <li>やり取りを始める前に、発話内容について確認し合ったり、他の生徒からアイデアを得たりさせることで、予めある程度話す内容を想定してタスクに取り組むことができるよ</li> </ul>                            |                |



|    |  |  |  |
|----|--|--|--|
| 2分 | <ul style="list-style-type: none"> <li>やり取り 1<br/>タスクのペアで2分間のやり取りを行う。</li> </ul>  | <p>うにする。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block; margin-bottom: 10px;"> <b>③Better Better Talk</b> </div> <span style="font-size: 2em; vertical-align: middle;">(</span> <span style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block; margin: 0 5px;">やり取り及び<br/>中間指導 1～4</span> <span style="font-size: 2em; vertical-align: middle;">)</span> <ul style="list-style-type: none"> <li>Let's ask more questions!などと声掛けを行うとともに、支援を要する生徒には必要に応じてサポートシート(別紙 1-1) (別紙 1-2) を参考にさせ、発話を促す。</li> <li>会話を継続するために、ドリル練習で学んだ表現を思い出させて使用を促す。</li> </ul> |  |
| 5分 | <ul style="list-style-type: none"> <li>中間指導 1<br/>どのような質問をすることで悩みを聞き出すことができたかを共有する。</li> </ul>   | <ul style="list-style-type: none"> <li>違うペアの同じ役割の生徒とどのような質問をしたか、またはされたかなどを共有させることで、次のやり取りに生かせるようにする。</li> <li>全体でも、どのような質問をしたかを共有することで、さらに質問の種類や表現の仕方についてバリエーションを増やす。Why do they disagree with the school? / What is the main reason?</li> </ul>   |  |
| 2分 | <ul style="list-style-type: none"> <li>やり取り 2<br/>再度同じペアで2分間やり取りを行う。</li> </ul>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>間違いながらも、様々な質問をしながらやり取りを継続しようとしているペアに対して、Good Job! Nice Try! などと声掛けを行うことで意欲を高める。</li> <li>次の中間指導で模範として示すために、質問をすることで悩みを上手く聞き出せているペアを把握する。</li> </ul>   |  |
| 5分 | <ul style="list-style-type: none"> <li>中間指導 2<br/>次のやり取りに生かすために、困り感の全体共有を行ったり、個人で疑問点を調べたりする。</li> </ul>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>模範となるペアのやり取りを見せることで、どのように質問をして悩みを上手く聞き出しているかを理解させる。</li> <li>言いたくても言えなかった表現を、生徒から引き出し、全体で解決することで次の学びへつなげる。</li> <li>個別の疑問を解決するために、タブレット等で単語や表現の仕方などを調べさせる。</li> </ul>   |  |
| 2分 | <ul style="list-style-type: none"> <li>やり取り 3<br/>ペアと役割を変えて2分間やり取りを行う。</li> </ul>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>Let's ask more questions!などと声掛けを行うとともに、支援を要する生徒には必要に応じてサポートシートを参考にさせ、発話を促す。</li> <li>会話を継続するために、ドリル練習で学んだ表現を思い出させて使用を促す。</li> </ul>   |  |
| 5分 | <ul style="list-style-type: none"> <li>中間指導 3</li> </ul>   | <ul style="list-style-type: none"> <li>どのような質問で悩みの詳細を上手く聞き</li> </ul>  |  |

|                     |  |   |  |
|---------------------|--|---|--|
| <p>2分</p> <p>3分</p> | <p>どのような質問をすることで悩みを聞き出すことができたかを共有する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ やり取り 4<br/>再度同じペアで2分間やり取りを行う。</li> <li>・ 中間指導 4<br/>困り感の全体共有を行ったり、個人で疑問点を調べたりする。</li> </ul> <p>6 会話内容のリフレクション<br/>相手の悩みを聞き出すために用いた表現を振り返り、次回の学習に生かす。</p> | <p>出すことができたかを生徒から聞き出し、全体の学びにつなげる。→ Any other reasons? / Don' t you have more strong reason? /</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ うまく質問をしながらやり取りが継続できているペアに対して、Good job! Nice work! などと声掛けを行うことで意欲を高める。</li> <li>・ 言いたくても言えなかった表現を全体共有することで、どのような表現ができるかを全員で考える。</li> <li>・ 個別の疑問を解決するために、タブレット等で単語や表現の仕方などを調べさせる。</li> <li>・ 相手の悩みを聞き出すために用いた表現を板書し、発音させることで、次回のやり取りでも使用できるよう促す。</li> <li>・ 必要に応じてサポートシート（別紙 1-1）（別紙 1-2）にメモさせる。</li> </ul> |  |
| <p>3分</p>           | <p>7 振り返り<br/>タブレットで、本時の目標が達成できたかどうかを振り返る。</p>   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 悩みを聞き出す質問を上手く投げかけながら話を展開することができたかななどを振り返ることで、次回の学習につなげる。</li> </ul>  |  |

単元名 Lesson5 Being True to Ourselves 3 / 1 1時間  
ねらい 英語で共感しながら悩みを聞くことができる。

|                                   | 学習活動  | 指導上の留意点及び教師の支援   | 評価規準<br>(評価方法) |     |     |   |  |
|-----------------------------------|---|--|----------------|-----|-----|---|--|
| 1分                                | 1 導入<br>・ あいさつ  |  |                |     |     |   |  |
| 1分                                | 2 本時の目標の確認<br>・ 本時のめあてを確認する。  |  |                |     |     |   |  |
| 英語で相手の気持ちに寄り添い共感しながら悩みを尋ねることができる。 |   |  |                |     |     |   |  |
| 5分                                | 3 語彙の確認<br>・ ペアで確認  | ・ 解答できた単語を得点化することで学習意欲を喚起する。   |                |     |     |   |  |
| 7分                                | 4 やり取りを支える表現のドリル練習<br>・ ペアでドリル練習を行う。(別紙1-1)(別紙1-2)(別紙2)   | ・ 上手く活動ができていないペアには、サポートシート(別紙1-1)(別紙1-2)を渡すことで、状況に応じてリストから自分で表現を選んで言えるように支援する。 |                |     |     |   |  |
|                                   |   | <b>②GRP</b>  |                |     |     |   |  |
| 2分                                | 5 悩み相談のタスク  | ・ 悩み相談において大切なポイントの内、相手に共感しながら悩み相談を受けることが本時の目標であると理解させる。                        |                |     |     |   |  |
| 悩みの内容：ホームステイ先での食事に関する悩み           |   | 悩み相談のポイント<br>①相手の悩みを上手く聞き出す<br>②相手の気持ちに寄り添う(共感する)<br>③的確なアドバイスをする              |                |     |     |   |  |
| 3分                                | ・ ペアで、1人が話し手、もう1人が聞き手となり、それぞれの会話の内容をワークシートに整理する。<br><br><div style="display: flex; align-items: center; justify-content: center;"> <div style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright; margin-right: 5px;">内容<br/>を<br/>共有<br/>する<br/>ペア</div> <div style="text-align: center;"> <p>タスクのペア</p> <p>←→</p> <table border="1" style="border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="padding: 5px;">聞き手</td> <td style="padding: 5px;">話し手</td> </tr> <tr> <td style="padding: 5px;">聞き手</td> <td style="padding: 5px;">話し手</td> </tr> </table> </div> </div> | 聞き手  | 話し手            | 聞き手 | 話し手 | ・ 悩みを考える負荷を軽減するため、悩みの概要を記した用紙(資料2)を配付し、必要に応じて使用させる(悩みの詳細は自分で考えてもよいこととする)。資料2を参考にして話す内容をワークシート(別紙3-1)に整理させる。<br><br><div style="text-align: center;"><b>①キャッチボールワークシート</b></div> |  |
| 聞き手                               | 話し手   |  |                |     |     |   |  |
| 聞き手                               | 話し手   |  |                |     |     |   |  |
| 2分                                | ・ 他のペアの同じ役割の生徒同士でワークシートを見せ合いながら話の内容を共有する。   | ・ やり取りを始める前に、発話内容について確認し合ったり、他の生徒からアイデアを得たりさせることで、予めある程度話す内容を想定してタスクに取り組むことが   |                |     |     |   |  |

|           |  |  |     |     |     |   |  |
|-----------|--|--|-----|-----|-----|---|--|
| <p>2分</p> | <ul style="list-style-type: none"> <li>やり取り 1<br/>タスクのペアで2分間のやり取りを行う。</li> </ul> <p style="text-align: center;">タスクのペア</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr> <td style="padding: 5px;">聞き手</td> <td style="padding: 5px;">話し手</td> </tr> <tr> <td style="padding: 5px;">聞き手</td> <td style="padding: 5px;">話し手</td> </tr> </table> <p style="font-size: small; margin-left: 5px;">内容を共有するペア</p> | 聞き手  | 話し手 | 聞き手 | 話し手 | <p>できるようにする。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block; margin-bottom: 5px;">③Better Better Talk</div> <span style="font-size: small; margin-left: 10px;">〔やり取り及び<br/>中間指導1～4〕</span> <ul style="list-style-type: none"> <li>相手の気持ちに共感するため、ドリル練習で学んだ表現を思い出させて使用を促す。</li> <li>支援を要する生徒には必要に応じてサポートシート（別紙1-1）（別紙1-2）を参考にさせ、発話を促す。</li> </ul> |  |
| 聞き手       | 話し手  |  |     |     |     |   |  |
| 聞き手       | 話し手  |  |     |     |     |   |  |
| <p>5分</p> | <ul style="list-style-type: none"> <li>中間指導 1<br/>どのような表現を用いることで相手に共感しながら悩みを尋ねることができたかを共有する。</li> </ul>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>違うペアの同じ役割の生徒とどのような表現を用いたかなどを共有させることで、次のやり取りに生かせるようにする。</li> <li>全体でも、相手の気持ちに共感するためにどのような声掛けをしたかを共有することで、さらに表現の仕方や種類のバリエーションを増やす。→ I' m so sorry to hear that. / That' s too bad.</li> </ul> |     |     |     |   |  |
| <p>2分</p> | <ul style="list-style-type: none"> <li>やり取り 2<br/>再度同じペアで2分間やり取りを行う。</li> </ul>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>間違いながらも、相手に共感しながらやり取りを継続しようとしているペアに対して、Good Job! Nice Try! などと声掛けを行うことで意欲を高める。</li> <li>次の中間指導で模範として示すために、上手く相手の気持ちに共感しながらやり取りができていたペアを把握する。</li> </ul>                                     |     |     |     |   |  |
| <p>5分</p> | <ul style="list-style-type: none"> <li>中間指導 2<br/>次のやり取りに生かすために、困り感の全体共有を行ったり、個人で疑問点を調べたりする。</li> </ul>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>模範となるペアのやり取りを見せることで、どのような表現を用いて相手に共感しているかを理解させる。</li> <li>言いたくても言えなかった表現を、生徒から引き出し、全体で解決することで次の学びへつなげる。</li> <li>個別の疑問を解決するために、タブレット等で単語や表現の仕方などを調べさせる。</li> </ul>                          |     |     |     |   |  |
| <p>2分</p> | <ul style="list-style-type: none"> <li>やり取り 3<br/>ペアと役割を変えて2分間やり取りを行う。</li> </ul>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>支援を要する生徒には必要に応じてサポートシート（別紙1-1）（別紙1-2）を参考にさせ、発話を促す。</li> <li>会話を継続するために、ドリル練習で学んだ表現を思い出させて使用を促す。</li> </ul>  |     |     |     |   |  |

|    |  |   |  |
|----|--|---|--|
| 5分 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 中間指導 3<br/>どのような表現を用いることで相手に共感しながらやり取りができたかを共有する。</li> </ul>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 相手の気持ちに共感するためにどのような表現を用いたかを生徒から取り上げる。<br/>→ I understand how you feel. / You' ll be all right. / It happens. / That must be tough.</li> </ul>  |  |
| 2分 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ やり取り 4<br/>再度同じペアで2分間やり取りを行う。</li> </ul>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 上手く相手の気持ちに共感しながらやり取りができているペアに対して、Good job ! Nice work ! などと声掛けを行うことで意欲を高める。</li> </ul>   |  |
| 3分 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 中間指導 4<br/>困り感の全体共有を行ったり、個人で疑問点を調べたりする。</li> </ul> <p>6 会話内容のリフレクション</p> <p>相手の気持ちに共感する表現を振り返り、次回の学習に生かす。</p> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 言いたくても言えなかった表現を全体共有することで、どのような表現ができるかを全員で考える。</li> <li>・ 個別の疑問を解決するために、タブレット等で単語や表現の仕方などを調べさせる。</li> <li>・ 相手の気持ちに共感する表現を板書し、発音させることで、次回のやり取りでも使用できるよう促す。</li> <li>・ 必要に応じてサポートシート（別紙 1-1）（別紙 1-2）にメモさせる。</li> </ul> |  |
| 3分 | <p>7 振り返り</p> <p>タブレットで、本時の目標が達成できたかどうかを振り返る。</p>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 上手く相手の気持ちに共感しながら悩みを尋ねることができたか等を振り返ることで、次回の学習につなげる。</li> </ul>  |  |

単元名 Lesson5 Being True to Ourselves 4 / 1 1時間  
ねらい 英語で相手の悩みを解決するアドバイスができる。

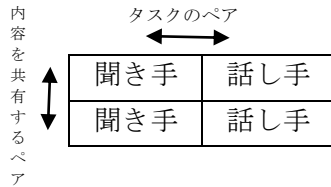
|                            | 学習活動  | 指導上の留意点及び教師の支援  | 評価規準<br>(評価方法) |     |     |  |  |
|----------------------------|---|---|----------------|-----|-----|--|--|
| 1分                         | 1 導入<br>・ あいさつ  |   |                |     |     |  |  |
| 1分                         | 2 本時の目標の確認<br>・ 本時のめあてを確認する。  |   |                |     |     |  |  |
| 英語で相手の悩みを解決する的確なアドバイスができる。 |   |   |                |     |     |  |  |
| 5分                         | 3 語彙の確認<br>・ ペアで確認  | ・ 解答できた単語を得点化することで学習意欲を喚起する。  |                |     |     |  |  |
| 7分                         | 4 やり取りを支える表現のドリル練習<br>・ ペアでドリル練習を行う。(別紙1-1) (別紙1-2) (別紙2)   | ・ 上手く活動ができていないペアには、サポートシート(別紙1-1) (別紙1-2)を渡すことで、状況に応じてリストから自分で表現を選んで言えるように支援する。   |                |     |     |  |  |
| 2分                         | 5 悩み相談のタスク  | ・ 悩み相談において大切なポイントの内、相手の悩みを解決する的確なアドバイスをすることが本時の目標であると理解させる。   |                |     |     |  |  |
| 悩みの内容：恋愛に関する悩み             |   | 悩み相談のポイント<br>①相手の悩みを上手く聞き出す<br>②相手の気持ちに寄り添う(共感する)<br>③ <u>的確なアドバイスをする</u>   |                |     |     |  |  |
| 3分                         | ・ ペアで、1人が話し手、もう1人が聞き手となり、それぞれの会話の内容をワークシートに整理する。<br><br><div style="display: flex; align-items: center;"> <div style="writing-mode: vertical-rl; font-size: small; margin-right: 5px;">内容を共有するペア</div> <div style="text-align: center;"> <p style="font-size: x-small;">タスクのペア</p> <table border="1" style="border-collapse: collapse; text-align: center;"> <tr> <td style="padding: 5px;">聞き手</td> <td style="padding: 5px;">話し手</td> </tr> <tr> <td style="padding: 5px;">聞き手</td> <td style="padding: 5px;">話し手</td> </tr> </table> </div> </div> | 聞き手   | 話し手            | 聞き手 | 話し手 | ・ 悩みを考える負荷を軽減するため、悩みの概要を記した用紙(資料3)を配付し、必要に応じて使用させる(悩みの詳細は自分で考えてもよいこととする)。資料3を参考にして話す内容をワークシート(別紙3-1)に整理させる。<br><br><div style="border: 2px solid black; padding: 5px; text-align: center; font-weight: bold;">①キャッチボールワークシート</div> |  |
| 聞き手                        | 話し手   |   |                |     |     |  |  |
| 聞き手                        | 話し手   |   |                |     |     |  |  |
| 2分                         | ・ 他のペアの同じ役割の生徒同士でワークシートを見せ合いながら話の内容を共有する。   | ・ 日本語でメモ程度に書くように指導することで、メモを頼りにしなくても英語で話せるようにさせる。<br>・ やり取りを始める前に、発話内容について確認し合ったり、他の生徒からアイデアを得たりさせることで、予めある程度話す内容を想定してタスクに取り組むことができるようにする。 |                |     |     |  |  |

③Better Better Talk

やり取り及び  
中間指導 1～4

2分

- やり取り 1  
タスクのペアで2分間のやり取りを行う。



- 相手の悩みを解決するアドバイスをするため、モデル対話で学んだ表現を思い出させて使用を促す。→ You should tell him your feeling. / How about asking him to be your boyfriend?
- 支援を要する生徒には必要に応じてサポートシート（別紙 1-1）（別紙 1-2）を参考にさせ、発話を促す。

5分

- 中間指導 1  
どのような表現を用いて的確なアドバイスをするのができたかを共有する。

- 違うペアの同じ役割の生徒とどのような表現でどのような内容のアドバイスをしたかを共有させることで、次のやり取りに生かせるようにする。
- 全体でも、アドバイスの表現と内容を共有することで、さらに表現の仕方や種類のバリエーションを増やす。→ Why don't you tell him your feeling? / You should become your friend at first.

2分

- やり取り 2  
再度同じペアで2分間やり取りを行う。

- つまずきながらも、アドバイスをするところまで会話を継続することができるペアに対して、Good Job! Nice Try! などと声掛けを行うことで意欲を高める。
- 次の中間指導で模範として示すために、うまくアドバイスができていたペアを把握する。

5分

- 中間指導 2  
次のやり取りに生かすために、困り感の全体共有を行ったり、個人で疑問点を調べたりする。

- 模範となるペアのやり取りを見せることで、どのような表現を用いて的確なアドバイスをしているかを理解させる。
- 言いたくても言えなかった表現を、生徒から引き出し、全体で解決することで次の学びへつなげる。
- 個別の疑問を解決するために、タブレット等で単語や表現の仕方などを調べさせる。

2分

- やり取り 3  
ペアと役割を変えて2分間やり取りを行う。

- 相手の悩みを解決する的確なアドバイスをするために、Why?と尋ね、理由を詳しく付け加えるよう指導する。

5分

- 中間指導 3  
どのような表現を用いて

- 的確なアドバイスをするためにどのような表現を用いたか、またそのアドバイスの根拠

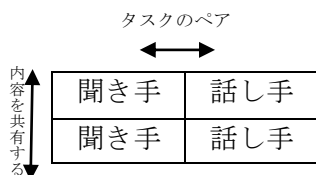
|                     |  |   |  |
|---------------------|--|---|--|
| <p>2分</p> <p>3分</p> | <p>的確なアドバイスをすることができたかを共有する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>やり取り 4<br/>再度同じペアで2分間やり取りを行う。</li> <li>中間指導 4<br/>困り感の全体共有を行ったり、個人で疑問点を調べたりする。</li> </ul> <p>6 会話内容のリフレクション<br/>相手の悩みを解決する的確なアドバイスに用いた表現を振り返り、次回の学習に生かす。</p> <p>7 次回に向けての課題を確認する。</p> | <p>をどのように説明したかを生徒から取り上げる。→ If I were you, I would ask him to be your boyfriend. Because he seems to be interested in America. / You shouldn't ask him out because you'll go back to America soon.</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>相手の悩みを解決する的確なアドバイスができているペアに対して、Good job! Nice work! などと声掛けを行うことで意欲を高める。</li> <li>言いたくても言えなかった表現を全体共有することで、どのような表現ができるかを全員で考える。</li> <li>個別の疑問を解決するために、タブレット等で単語や表現の仕方などを調べさせる。</li> <li>相手の悩みを解決する的確なアドバイスに用いた表現を板書し、発音させることで、次回のやり取りでも使用できるよう促す。</li> <li>必要に応じてサポートシート（別紙 1-1）（別紙 1-2）にメモさせる。</li> <li>次回の授業で自分が設定した悩み相談を行うため悩みの内容を考えさせておく。その際、実際の悩みを話すことが難しい生徒のために、中学生の悩みリストを提示する。</li> </ul> |  |
| <p>3分</p>           | <p>振り返り<br/>タブレットで、本時の目標が達成できたかどうかを振り返る。</p>   | <ul style="list-style-type: none"> <li>相手の悩みを解決する的確なアドバイスができたか等を振り返ることで、次回の学習につなげる。</li> </ul>  |  |



単元名 Lesson5 Being True to Ourselves 5 / 1 1時間

ねらい これまでの悩み相談のポイントを生かして、英語で相手の悩みを解決するアドバイスができる。

|    | 学習活動  | 指導上の留意点及び教師の支援  | 評価規準<br>(評価方法) |
|----|---|---|----------------|
| 1分 | 1 導入<br>・ あいさつ  |   |                |
| 3分 | 2 語彙の確認<br>・ ペアで確認  | <ul style="list-style-type: none"> <li>解答できた単語を得点化することで学習意欲を喚起する。</li> </ul> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin: 5px 0;">②QRP</div> <ul style="list-style-type: none"> <li>上手く活動ができていないペアには、サポートシート（別紙 1-1）（別紙 1-2）を渡すことで、状況に応じてリストから自分で表現を選んで言えるように支援する。</li> </ul>   |                |
| 5分 | 3 やり取りを支える表現のドリル練習<br>・ ペアでドリル練習を行う。<br>(別紙 1-1) (別紙 1-2) (別紙 2)  |   |                |
| 1分 | 4 本時の目標の確認<br>・ 本時のめあてを確認する。  |   |                |
| 1分 | 5 悩み相談のタスク  |   |                |
|    | <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px auto; width: fit-content;">                     これまでの悩み相談のポイントを生かして、<br/>英語で相手の悩みを解決するアドバイスができる。                 </div> |   |                |
|    | <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px auto; width: fit-content;">                     悩みの内容：生徒それぞれの悩み                 </div>                                  | <ul style="list-style-type: none"> <li>悩み相談において大切なポイントを生かして、的確なアドバイスをすることが本時の目標であると理解させる。</li> </ul> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px auto; width: fit-content;">                     悩み相談のポイント<br/>                     ①相手の悩みを上手く聞き出す<br/>                     ②相手の気持ちに寄り添う（共感する）<br/>                     ③的確なアドバイスをする                 </div> |                |
| 5分 | ・ それぞれの悩みの内容をワークシート（別紙 3-1）に整理する。   | <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin: 5px 0;">①キャッチボールワークシート</div> <ul style="list-style-type: none"> <li>ワークシート（別紙 3-1）に悩みの内容と話の展開を整理させることで、話す前に予め内容を想定してタスクに取り組むことができるようにする。</li> </ul>  |                |
| 3分 | ・ ワークシートに書いた内容を基に、悩み相談のポイントと話の展開について全体で確認する。  | <ul style="list-style-type: none"> <li>実際の悩みを話すのが難しい生徒や、悩みが思いつかない生徒のために、中学生の悩みリストを配付し、必要に応じて使用させる。</li> <li>日本語でメモ程度に書くように指導することで、メモを頼りにしなくても英語で話せるようにさせる。</li> </ul>   |                |
| 2分 | ・ やり取り 1<br>タスクのペアで2分間のやり取りを行う。   | <ul style="list-style-type: none"> <li>前時までは悩みのテーマが共通していたため、ペアで発話内容や話の展開について交流していたが、本時は悩みの内容が1人1人異なるため、全体で悩み相談のポイントと話の展開について確認する。</li> </ul>  |                |



**③Better Better Talk** ( やり取り及び  
中間指導 1～4 )

5分

- ・ 中間指導 1  
次のやり取りに生かすために、個人で疑問点を調べたり、困り感の全体共有を行ったりする。

- ・ 支援を要する生徒には必要に応じてサポートシート（別紙 1-1）（別紙 1-2）の質問と相手に寄り添う表現を参考にさせ、発話を促す。
- ・ 質問したり、共感したりすることで会話をうまく継続・発展することができるペアに対して、Good Job! Nice Try! などと声掛けを行うことで意欲を高める。

2分

- ・ やり取り 2  
再度同じペアで2分間やり取りを行う。

- ・ 悩みの内容が個別に異なるため、個人で調べたり、確認したりする時間を多くとることで、それぞれの疑問や課題を解決させる。
- ・ 多くの生徒に共通の課題は、全体で取り上げ、解決させることで次の学びへつなげる。

- ・ 次の中間指導で模範として示すために、質問したり共感したりしながら会話を継続・発展できているペアを把握する。

5分

- ・ 中間指導 2  
次のやり取りに生かすために、困り感の全体共有を行ったり、個人で疑問点を調べたりする。

- ・ 模範となるペアのやり取りを見せることで、どのような表現を用いて、質問したり、共感したりしながら会話を継続・発展させているのかを理解させる。
- ・ 個別の疑問を解決するために、タブレット等で単語や表現の仕方などを調べさせる。

2分

- ・ やり取り 3  
ペアと役割を変えて2分間やり取りを行う。

- ・ 相手の悩みを解決する的確なアドバイスができているペアに対して、Good job! Nice work! などと声掛けを行うことで意欲を高める。

5分

- ・ 中間指導 3  
どのような表現を用いて的確なアドバイスをすることができたかを共有する。

- ・ 的確なアドバイスをするためにどのような表現を用いたか、またそのアドバイスの根拠をどのように説明したかを生徒から引き出す。  
→ Why don' t you~/You should~.  
If I were you, I would~.  
Because ~,How about~.
- ・ 個別の疑問を解決するために、タブレット等で単語や表現の仕方などを調べさせる。

|    |   |  |  |
|----|---|--|--|
| 2分 | <ul style="list-style-type: none"> <li>やり取り 4<br/>再度同じペアで2分間やり取りを行う。</li> </ul>           | <ul style="list-style-type: none"> <li>必要に応じてサポートシート（別紙 1-1）（別紙 1-2）にメモさせる。</li> </ul>                             |  |
| 5分 | <ul style="list-style-type: none"> <li>中間指導 4<br/>困り感の全体共有を行ったり、個人で疑問点を調べたりする。</li> </ul> |  |  |
| 2分 | <p>6 会話内容のリフレクション<br/>悩み相談のポイントを取り入れる上で有効だった表現を振り返る。</p>                                  |  |  |
| 2分 | <p>7 振り返り<br/>タブレットで、本時の目標が達成できたかどうかを振り返る。</p>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>これまでの悩み相談のポイントを生かして、英語で相手の悩みを解決するアドバイスができたか等を振り返ることで、次回の学習につなげる。</li> </ul> |  |

単元名 Lesson5 Being True to Ourselves 6 / 1 1時間

ねらい 現実とは異なることを仮定して述べる表現（仮定法）の意味と形式を理解する。

|     | 学習活動   | 指導上の留意点及び教師の支援  | 評価規準<br>(評価方法) |
|-----|--|---|----------------|
| 1分  | 1 導入<br>あいさつ   |   |                |
| 7分  | 2 前時の復習 <ul style="list-style-type: none"> <li>前時の発話記録から間違いの多い表現などを取り上げ、全体で確認する。</li> <li>仮定法の誤文を提示し、間違いに気づかせる。</li> </ul>     | <ul style="list-style-type: none"> <li>前時の発話の振り返りを、今後の発話に生かすよう促すことで、やり取りの質を高める。</li> <li>生徒が実際に「悩み相談」の際に用いた表現の中から、例文を提示することでどのような場面で用いる表現なのかをイメージできるようにする。</li> </ul> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>提示する英文</p> <p>If I <u>am</u> you, I <u>will</u> tell him how I feel. (×)</p> <p>もし私があなただったら、彼に気持ちを伝えるわ。</p> <p>If I <u>were</u> you, I <u>would</u> tell him how I feel. (○)</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> <li>仮定法について理解し、使えるようになることで表現の幅が広がることに気付かせ、仮定法を学ぶ必然をもたせる。</li> </ul> |                |
| 1分  | 3 本時の目標の確認 <ul style="list-style-type: none"> <li>本時のめあてを確認する。</li> </ul>  | <div style="border: 1px solid black; padding: 10px; width: fit-content; margin: 0 auto;"> <p>仮定法の意味と形式を理解することができる</p> </div>  |                |
| 12分 | 4 文法事項の理解<br>① 仮定法の意味と形式を理解する。 <ul style="list-style-type: none"> <li>なぜ過去形になるのかを考える。</li> </ul>                               | <ul style="list-style-type: none"> <li>仮定法と直接法の英文を大型提示装置に提示し（別紙5①～⑧）、比較しながら考えさせることで、仮定法が「現実には起こり得ないこと」を仮定して述べる方法であること、またそのために現実とは異なる、過去形を用いることを理解させる。</li> </ul>  |                |
| 8分  | ② 口頭練習（全体） <ul style="list-style-type: none"> <li>穴埋めをしながら口頭練習をする。</li> </ul>  | <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>提示する英文</p> <p>① 直接法 If I have time, I will go shopping.<br/>もし時間があつたら、買い物に行くつもりだ。</p> <p>② 仮定法 If I had time, I would go shopping.<br/>もし時間があつたら、買い物に行くのになあ...<br/>(→実際には時間がないから買い物には行けない。)</p> <p>③ 仮定法 If I had a time machine, I would go to the future.<br/>もしタイムマシンがあつたら、未来に行くだろう。<br/>(→実際にはタイムマシンはないから未来には行けない。)</p> </div>  |                |
| 8分  | ③ 口頭練習（ペア） <ul style="list-style-type: none"> <li>個々のタブレットで仮定法穴埋めチャレンジを開く。ペアの1人が英語で穴埋めをし、もう1人が、相手が言った英文が合っているか確認する。</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>be 動詞や一般動詞、助動詞の過去形を穴埋めさせることで、仮定法の形式の特徴に注意を向けさせる。</li> <li>口頭練習はパワーポイントに提示された英文を見ながら教師の後について英文をリピートすることから始め、次の穴埋めのパターン練習につなげる。</li> </ul>   |                |

|     |  |   |  |
|-----|--|---|--|
| 10分 | <p>④ 書く活動（個人）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ チャット形式のワークシート（別紙4）のやり取りのセリフを完成させ、全体で答えを共有する。</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 仮定法の意味と形式の理解を深めるために、全体で練習した後、ペアで練習させる。</li> <li>・ 机間指導で、生徒一人一人の理解の様子を見取る。その際、支援が必要な生徒に対して、パワーポイントで提示された英文を参考として示しながら指導することで、パターン練習がスムーズに行えるようにする。</li> <li>・ これまで練習してきた悩み相談の文脈の中での仮定法の使い方を理解する。</li> </ul> |  |
| 3分  | <p>5 本時の振り返り</p> <p>タブレットで本時の授業を振り返る。</p>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 仮定法の意味と形式が理解できたかを確認し、振り返ることで今後の学習につなげる。</li> </ul>   |  |

単元名 Lesson 6 Why do We Have to Work? 7 / 1 1時間

ねらい ディスカッションの際のポイントを押さえて、単元テストに賛成か反対かについて英語でディスカッションできる。

|   | 学習活動                                  | 指導上の留意点及び教師の支援   | 評価規準<br>(評価方法) |
|---|---------------------------------------|--|----------------|
| 1分  | 1 導入<br>・ あいさつ                        |  |                |
| 1分  | 2 本時のめあてを確認する。                        |  |                |
| <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 0 auto;">                     ディスカッションの際のポイントを押さえて、単元テストに賛成か反対かについてディスカッションできる。                 </div> |                                       |  |                |
| 3分  | 3 語彙の確認<br>・ 全体で発音と意味を確認する。           |  |                |
| 2分  | 4 モデル対話の提示<br>・ ディスカッションのモデル対話の動画をみる。 | ・ 動画を視聴した後でモデル対話のスクリプト（下記）を配付し、参考にさせることで、上手く聞き取れなかった生徒がディスカッションのイメージを掴めるようにする。 |                |

**モデル対話のスクリプト**

JTE：日本人英語教員 ALT：外国語指導助手

JTE1: Do you have club activities in junior high school in your country?

ALT: No, we don't.

JTE 1: ⑥Are you sure? ⑤Do you think club activity is not important?

ALT: I think studying is more important than club activities for students.

If they don't study, they can't get enough knowledge and can't work in the future.

JTE1: ⑥Certainly. ④I agree with your idea but, ①in my opinion, I think club activity is more important than studying for junior high school students.

ALT: Oh, why do you think so?

JTE1: ②Because they can learn a lot of things through club activities.

ALT: What can they learn? Give me some examples.

JTE1: ⑥Well... ③special skills for sports, teamwork, and stamina!

ALT: That's for sure. How about you, ○○sensei? Do you think club activities are important than studying?

JTE2: No, I agree with your idea, Shana. Studying is the most important for students. Because they have to take the entrance exam for high schools.

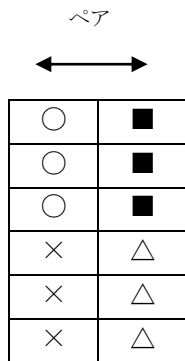
ALT: I see. Most of Japanese students go to high school. Do you have any other reasons?

JTE2: As you said, Shana, if we think about students' future, they have to study to work and make money. In fact, one of my students didn't study so much because of the club activity and he couldn't pass the entrance exam. He has no time to study.

JTE1: ④I understand your idea, ○○sensei. But ③this graph says (showing a graph) many companies says people should get stamina and team work skills before they work in the society.

\* ○番号はディスカッションのポイントについて JTE1 の発話のみ示している。

|    |  |   |  |
|----|--|---|--|
|    | <ul style="list-style-type: none"> <li>大型提示装置の提示とワークシート（別紙 3-2）を見ながら、ディスカッションの際のポイントを確認する。</li> </ul>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>ディスカッションの際のポイントについて具体的に理解させるために、それぞれのポイントとモデル対話の発話を照らし合わせて確認する。</li> </ul>   |  |
|    | <p><b>ディスカッションの際のポイント</b></p> <p>①自分の立場を明確にして考えを伝えている。<br/>         ②自分の考えの理由を伝えている。<br/>         ③複数の理由や根拠（資料や経験）を示している。<br/>         ④相手の考えを受けとめている。<br/>         ⑤相手の考えやその詳細を聞き出す質問をしている。<br/>         ⑥つなぎ言葉やあいづちなどで会話を継続する工夫をしている。</p>  |   |  |
| 7分 | <p>5 ディスカッションのタスク</p> <p>課題：東原中学校で改めてより良いテストの在り方を考えるために校内で議論になっています。あなたは、単元テストに賛成ですか、それとも反対ですか？</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>資料 4 の内容を把握する。</li> </ul> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p><b>A</b> ・学習内容は短い期間で繰り返し行うことで定着する</p> <p><b>B</b> ・単元テストはテストの回数が多くて大変である</p> <p><b>C</b> ・定期テストは入試の練習になる<br/>         ・定期テスト中は部活がないため集中して勉強できる</p> <p><b>D</b> ・定期テストは試験範囲が広いので一夜漬けになる</p> </div> | <ul style="list-style-type: none"> <li>賛成派の意見と反対派の意見両方に係る資料を提示することで、いずれの立場においても自分の考えの根拠を持ちやすくさせる。</li> <li>まずは個人で資料の内容を読み取り、その後全体で確認することで、資料の内容を理解した上で、自信をもって発話できるようにする。</li> </ul> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> <p>①キャッチボールワークシート</p> </div> |  |
| 7分 | <ul style="list-style-type: none"> <li>ディスカッションの際のポイントを確認しながら話す内容と展開を考える。</li> </ul>   | <ul style="list-style-type: none"> <li>ワークシート（別紙 3-2）に、話す内容と話の展開を整理させることで、話す前に予め内容を想定してタスクに取り組むことができるようにする。</li> <li>日本語でメモ程度に書くように指導することでメモを頼りにしなくても英語で話せるようにさせる。</li> </ul>   |  |
| 3分 | <ul style="list-style-type: none"> <li>ペアでワークシート（別紙 3-2）を見せあいながら話す内容を共有する（ディスカッションをするグループとは別の生徒とペア）</li> </ul>   | <ul style="list-style-type: none"> <li>ペアの相手が自分と同じ立場の場合は、それぞれの理由を共有し、参考にさせる。また、違う立場の場合は、相手の意見を聞いて、どのような反応や質問をするかを考えさせることで、会話が展開できるようにする。</li> </ul>   |  |



横のペア：発話内容の確認  
 縦の3人：タスクのグループ

2分

- やり取り1  
 3人グループで2分間のディスカッションを行う。

8分

- 中間指導1  
 ディスカッションの際のポイント①②③④ができるようになるためのヒントを得る。

**③Better Better Talk**

（やり取り及び  
 中間指導1～4）

- タスクに入る前に、ディスカッションの際のポイント①～④を踏まえながらやり取りを行うように伝えることで、意識づけさせる。
- 会話が止まっているグループには、グループ全員が自分の考えとその理由を述べることができたかを確認し、まだ述べていない生徒がいる場合は別の生徒に質問するよう促す。
- グループ全員が自分の考えとその理由を述べて会話が止まっている場合には、前時まで行ってきたドリル練習で学んだコミュニケーション方略を思い出させて質問を促す。
- モデル対話のスク립トを参考にさせることで、ディスカッションの際のポイントにつながる表現を再度確認する。
- ポイント①ができなかった生徒に対して、I think that…because~/ I agree (disagree) withなどの表現を提示することで、自分の考えが述べられるようにする。
- ポイント②③ができなかった生徒に対して、資料4とワークシート（別紙3-2）を用いて再考させたり、The 別紙1 graph says…などの表現を提示することで、別の理由や具体的な根拠を述べるができるようにする。
- ポイント④ができなかった生徒に対して、Certainly. / I understand your idea, ~などの表現を提示することで相手



|    |   |   |  |
|----|---|---|--|
| 2分 | <ul style="list-style-type: none"> <li>やり取り 2<br/>グループのメンバーを変えて2分間やり取りを行う。</li> </ul>             | <p>の考えを受け止め、やり取りができるようにする。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>タスクに入る前に、ディスカッションの際のポイント①～④に加えて、⑤⑥を踏まえながらやり取りを行うように伝えることで、意識づけさせる。</li> <li>間違いながらも、質問し合いながらやり取りを継続しようとしているグループに対して、Good Job! Nice Try! など声掛けを行うことで意欲を高める。</li> <li>次の中間指導で模範として示すために、ディスカッションの際のポイントを踏まえた上で、会話を継続・発展できているグループを把握する。</li> </ul> |  |
| 5分 | <ul style="list-style-type: none"> <li>中間指導 2<br/>ディスカッションの際のポイント⑤⑥ができるようになるためのヒントを得る。</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>模範となるグループのやり取りを見せることで、どのようにして会話を継続・発展させているのかを理解させる。</li> <li>⑤ができなかった生徒に対し、別の理由を尋ねたり、具体例を尋ねたりする表現を提示することで、次のやり取りで使えるようにする。</li> <li>⑥ができていなかった生徒に対して、モデル対話の SCRIPT では、どのような表現を用いているかを確認させ、次回のやり取りで生かせるようにする。</li> </ul>  |  |
| 3分 | <p>6 会話内容のリフレクション<br/>ディスカッションで用いた表現を振り返り、次回の学習に生かす。</p>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>ディスカッションに用いた表現を板書し、発音させることで、次回のやり取りでも使用できるよう促す。</li> </ul>   |  |
| 2分 | <p>7 本時の振り返り<br/>タブレット端末で、本時の目標が達成できたかを振り返る。</p>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>ディスカッションの際のポイントを踏まえてやり取りをできたか等を振り返ることで、次回の学習につなげる。</li> </ul>  |  |

単元名 Lesson 6 Why do We Have to Work? 8 / 1 1 時間

ねらい 学校の服装規律は必要と思うか、必要でないと思うかについて、英語でディスカッションできる。

|   | 学習活動  | 指導上の留意点及び教師の支援   | 評価規準<br>(評価方法) |
|---|---|--|----------------|
| 1分  | 1 導入<br>・ あいさつ  |  |                |
| 1分  | 2 本時のめあてを確認する。  |  |                |
| <p>複数の理由や根拠（資料や経験）を示しながら、学校の服装規律は必要と思うか、必要でないと思うかについて、ディスカッションできる。</p>  |   |  |                |
| 3分  | 3 語彙の確認<br>・ 全体で発音と意味を確認する。                                   |  |                |
| 7分  | 4 やり取りを支える表現のドリル練習<br>・ ペアでドリル練習を行う。<br>(別紙 1-1, 2, 3) (別紙 2) | <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">②QRP</div> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 上手く活動ができていないペアには、サポートシート（別紙 1-1, 2, 3）を参考にし、その中から状況に応じて自分で表現を選んで言うように支援する。</li> </ul> |                |
| <p>課題：中学校の服装規律を見直そうという意見があります。あなたは中学校の服装規律は必要だと思いますか、必要ではないと思いますか？</p>  |   |  |                |
| 7分  | 5 ディスカッションのタスク<br>・ 資料 5 の内容を把握する。                            | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 学校の服装規律は必要と思う立場、必要でないと思う立場の両方に係る資料を提示することで、いずれの立場においても自分の考えの根拠を持ちやすくさせる。</li> <li>・ まずは個人で資料の内容を読み取り、その後全体で確認することで、資料の内容を理解した上で、自信をもって発話できるようにする。</li> </ul>                |                |
| <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p><b>A</b> 服装規律などの校則が何のためにあるのかという校長先生の説明</p> <p><b>B</b> 服装規律に疑問を呈するポスター</p> <p><b>C</b> 服装規律などの校則がなければ自分のしたいことばかりに気を取られ勉強に集中できないという生徒の意見</p> <p><b>D</b> 日本の服装規律が、アメリカと比べて厳しいと考える留学生の意見</p> </div> |   |  |                |

**①キャッチボールワークシート**

7分

- ディスカッションの際のポイントを確認しながら話す内容と展開を考える。
- ポイント③「複数の理由や根拠（資料や経験）を示している。」ができるように意識する。

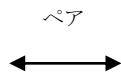
- ワークシート（別紙3-2）に、話す内容と話の展開を整理させることで話す前に予め内容を想定してタスクに取り組むことができるようにする。
- 日本語でメモ程度に書くように指導することでメモを頼りにしなくても英語で話せるようにさせる。

**ディスカッションの際のポイント**

- ①自分の立場を明確にして考えを伝えている。
- ②自分の考えの理由を伝えている。
- ③複数の理由や根拠（資料や経験）を示している。
- ④相手の考えを受けとめている。
- ⑤相手の考えやその詳細を聞き出す質問をしている。
- ⑥つなぎ言葉やあいづちなどで会話を継続する工夫をしている。

3分

- ペアでワークシート（別紙3-2）を見せあいながら話す内容を共有する（ディスカッションをするグループとは別の生徒とペア）



|   |   |
|---|---|
| ○ | ■ |
| ○ | ■ |
| ○ | ■ |
| × | △ |
| × | △ |
| × | △ |

横のペア：発話内容の確認  
縦の3人：タスクのグループ

- ペアの相手が自分と同じ立場の場合は、それぞれの理由を共有し、参考にさせる。また、違う立場の場合は、相手の意見を聞いて、どのような反応や質問をするかを考えさせることで、会話が展開できるようにする。

**③Better Better Talk**

やり取り及び  
中間指導 1～4

2分

- やり取り 1  
3人グループで2分間のディスカッションを行う。

- タスクに入る前に、ディスカッションの際のポイント①～④の内、特に③に留意してやり取りするよう声をかけることで、意識づけさせる。
- 会話が止まっているグループには、グループ全員が自分の考えとその理由を述べることができたかを確認し、まだ述べていない生徒がいる場合は別の生徒に質問するよう促す。

6分

- 中間指導 1  
ディスカッションの際のポイ

- ポイント③ができなかった生徒に対して、自分の経験などを想起させ、ワーク

|    |  |  |  |
|----|--|--|--|
|    | <p>ント③ができていたかを確認する。</p>  | <p>シート（別紙 3-2）を用いて根拠を再考させる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>前時で指導した、The graph says…や According to the article (passage), などの表現を思い出させ、複数の理由や根拠（資料や経験）を示すことができるようにする。</li> </ul>  |  |
| 3分 | <ul style="list-style-type: none"> <li>やり取り 2<br/>グループのメンバーを変えて 3分間やり取りを行う。</li> </ul>     | <ul style="list-style-type: none"> <li>タスクに入る前に、ポイント①～④に加えて、⑤⑥を踏まえながらやり取りを行うように伝えることで意識づけさせる。</li> <li>会話が止まっているグループには資料（別紙 1-3）を指さしながら” Do you have another reason?” などと声をかけることで、中間指導 1 で取り上げた表現などを用いて複数の理由や根拠（資料や経験）を示すよう促す。</li> <li>次の中間指導で模範として示すために複数の理由や根拠（資料や経験）を示しながらやり取りを展開しているグループを把握する。</li> </ul> |  |
| 5分 | <ul style="list-style-type: none"> <li>中間指導 2<br/>ディスカッションの際のポイント③ができていたかを確認する。</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>模範となるグループのやり取りを見せることで、どのようにして複数の理由や根拠（資料や経験）を示しているのかを理解させる。さらにポイント⑤⑥についても良かった点を確認し、次回のやり取りの参考にさせる。</li> <li>複数の理由や根拠（資料や経験）を示すために、言いたくても言えなかった表現を全体共有することで、表現の幅を広げる。</li> </ul>   |  |
| 3分 | <p>6 会話内容のリフレクションディスカッションで用いた表現を振り返り、次回の学習に生かす。</p>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>複数の理由や根拠（資料や経験）を示すために用いた表現を板書し、発音させることで、次回のやり取りでも使用できるように促す。</li> </ul>   |  |
| 2分 | <p>7 本時の振り返り<br/>タブレット端末で、本時の目標が達成できたかどうかを振り返る。</p>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>ディスカッションの際のポイント③に留意し、やり取りができたか等を振り返ることで、次回の学習につなげる。</li> </ul>  |  |

単元名 Lesson 6 Why do We Have to Work 9 / 1 1時間

ねらい 中学校にスマートフォンを持ってくることに賛成か反対かについて英語でディスカッションできる。

|  | 学習活動  | 指導上の留意点及び教師の支援   | 評価規準<br>(評価方法) |
|--|---|--|----------------|
| 1分   | 1 導入<br>・ あいさつ  |  |                |
| 1分   | 2 本時のめあてを確認する。  |  |                |
| 中学校にスマートフォンを持ってくることに賛成か反対かについて、相手の考えを受けとめながら、ディスカッションできる。  |   |  |                |
| 5分   | 3 語彙の確認<br>・ 全体で発音と意味を確認する。                                   |  |                |
| 8分   | 4 やり取りを支える表現のドリル練習<br>・ ペアでドリル練習を行う。<br>(別紙 1-1, 2, 3) (別紙 2) | <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block; margin-bottom: 5px;">②GRP</div> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 上手く活動ができていないペアには、サポートシート (別紙 1-1, 2, 3) を参考にし、その中から状況に応じて自分で表現を選んで言うように支援する。</li> </ul> |                |
| 課題：中学校にスマートフォンを持参したいという声をよく聞きます。あなたは東原中学校にスマートフォンを持ってくることに賛成ですか反対ですか。  |   |  |                |
|  | 5 ディスカッションのタスク<br>・ 資料 6 の内容を把握する。                            | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 東原中学校にスマートフォンを持ってくることに賛成の立場と反対の立場の両方に係る資料を提示することで、いずれの立場においても自分の考えの根拠を持ちやすくさせる。</li> <li>・ まずは個人で資料の内容を読み取り、その後全体で確認することで、資料の内容を理解した上で、自信をもって発話できるようにする。</li> </ul>                               |                |
| A いつでも SNS をチェックできる。<br>B タブレットがあるから、スマートフォンは必要ない。<br>C 登下校中に緊急のことがあった場合に連絡を取れる。<br>D 学校では壊れたり、紛失したりする心配がある。 |   |  |                |
| 8分   | ・ ディスカッションの際のポイントを確認しながら話す内容と展開を考える。                          | <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block; margin-bottom: 5px;">①キャッチボールワークシート</div> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ ワークシート (別紙 3-2) に、話す内容と話の展開を整理させることで話す前に予め内容を想定してタスクに取り組む</li> </ul>          |                |

- ポイント④「相手の考えを受けとめている。」ができるように意識する。

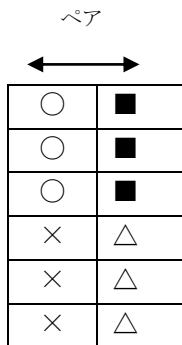
- ことができるようにする。
- 日本語でメモ程度に書くように指導することでメモを頼りにしなくても英語で話せるようにさせる。

### ディスカッションの際のポイント

- ①自分の立場を明確にして考えを伝えている。
- ②自分の考えの理由を伝えている。
- ③複数の理由や根拠（資料や経験）を示している。
- ④相手の考えを受けとめている。
- ⑤相手の考えやその詳細を聞き出す質問をしている。
- ⑥つなぎ言葉やあいづちなどで会話を継続する工夫をしている。

3分

- ペアでワークシート（別紙3-2）を見せあいながら話す内容を共有する（ディスカッションをするグループとは別の生徒とペア）



横のペア：発話内容の確認  
縦の3人：タスクのグループ

- ペアの相手が自分と同じ立場の場合は、それぞれの理由を共有し、参考にさせる。また、違う立場の場合は、相手の考えを聞いて、どのような反応や質問をするかを考えさせることで、会話が展開できるようにする。

2分

- やり取り1  
3人グループで2分間のディスカッションを行う。

### ③Better Better Talk

（やり取り及び  
中間指導1～4）

- タスクに入る前に、ディスカッションの際のポイント①～④の内、特に④に留意してやり取りを展開するよう意識させる。
- 会話が止まっているグループには、グループ全員が自分の考えとその理由を述べることができたかを確認し、まだ述べていない生徒がいる場合は別の生徒に質問するよう促す。

6分

- 中間指導1  
ディスカッションの際のポイント④ができていたかを確認する。

- ポイント④を意識し、どのような表現を用いて相手の考えを受けとめたのかを生徒から引き出し共有することで、全体の学びにつなげる。
- ポイント④ができなかった生徒に対して、モデル対話のスキriptやディスカッションのサポートシート（別紙1-

|    |  |  |  |
|----|--|--|--|
| 2分 | <ul style="list-style-type: none"> <li>やり取り 2<br/>グループのメンバーを変えて2分間やり取りを行う。</li> </ul>      | <p>3)を参考にさせながら、ポイント④に当たる表現を確認し、次のやり取りでの使用を促す。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>タスクに入る前に、ポイント①～④に加えて、⑤⑥を踏まえながらやり取りを行うように伝える。</li> <li>話を無言で聞いているグループに対して、相手の発話に対してリアクションを返すことや、中間指導1で確認した相手の考えを受けとめる表現を用いるよう声掛けをする。</li> <li>次の中間指導で模範として示すために、相手の考えを受けとめながらやり取りが展開できているグループを把握する。</li> </ul> |  |
| 8分 | <ul style="list-style-type: none"> <li>中間指導 2<br/>ディスカッションの際のポイント④ができていたかを確認する。</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>模範となるグループのやり取りを見せることで、どのようにして相手の考えを受けとめながらやり取りを展開しているのかを理解させる。さらにポイント⑤⑥についてもできたことや、使えた表現を確認し、次回のやり取りの参考にさせる。</li> <li>言いたくても言えなかった表現を全体共有することで、表現の幅を広げる。</li> </ul>   |  |
| 3分 | <p>6 会話内容のリフレクション<br/>ディスカッションで用いた表現を振り返り、次回の学習に生かす。</p>                                   | <ul style="list-style-type: none"> <li>相手の考えを受けとめる際に用いた表現を板書し、発音させることで、次回のやり取りでも使用できるよう促す。</li> </ul>  |  |
| 3分 | <p>7 本時の振り返り<br/>タブレット端末で、本時の目標が達成できたかどうかを振り返る。</p>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>ディスカッションの際のポイント④に留意し、やり取りができたか等を振り返ることで、次回の学習につなげる。</li> </ul>  |  |

単元名 Lesson 6 Why do We Have to Work 10 / 11 時間  
ねらい 電子マネーと現金払いのどちらが使っていきたいかについて英語でディスカッションできる。

|   | 学習活動  | 指導上の留意点及び教師の支援   | 評価規準<br>(評価方法) |
|---|---|--|----------------|
| 1分  | 1 導入<br>・ あいさつ  |  |                |
| 1分  | 2 本時のめあてを確認する。  |  |                |
| 電子マネーと現金のどちらが使っていきたいかについて、相手の考えやその詳細を聞き出す質問等をしながら英語でディスカッションできる。  |   |  |                |
| 5分  | 3 語彙の確認<br>・ 全体で発音と意味を確認する。                                   |  |                |
| 8分  | 4 やり取りを支える表現のドリル練習<br>・ ペアでドリル練習を行う。<br>(別紙 1-1, 2, 3) (別紙 2) | <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">②QRP</div> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 上手く活動ができていないペアには、サポートシート (別紙 1-1, 2, 3) を参考にし、その中から状況に応じて自分で表現を選んで言うように支援する。</li> </ul> |                |
| 課題：ある調査によると、中学3年生の6割以上が電子マネーを使用していると言います。<br>あなたは電子マネーと現金のどちらを使っていきたいですか。   |   |  |                |
|   | 5 ディスカッションのタスク<br>・ 資料7の内容を把握する。                              | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 電子マネーが使いやすいという立場と現金が使いやすいという立場の両方に係る資料を提示することで、いずれの立場においても自分の考えの根拠を持ちやすくさせる。</li> <li>・ まずは個人で資料の内容を読み取り、その後全体で確認することで、資料の内容を理解した上で、自信をもって発話できるようにする。</li> </ul>              |                |
| <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p><b>A</b> すぐに支払いが完了するので便利である。</p> <p><b>B</b> カードやスマートフォンを紛失してしまうと不正利用される心配がある。</p> <p><b>C</b> 電子マネーでは支払えない時がある。</p> <p><b>D</b> 現金は電子マネーに比べてかさばる。</p> </div> |   |  |                |
| 8分  | ・ ディスカッションの際のポイントを確認しながら話す内容と展開を考える。                          | <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">①キャッチボールワークシート</div> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ ワークシート (別紙 3-2) に、話す内容と話の展開を整理させることで話す前に</li> </ul>                           |                |



- ポイント⑤「相手の考えやその詳細を聞き出す質問等をしている」ができるように意識する。

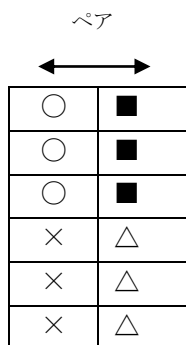
- 予め内容を想定してタスクに取り組むことができるようにする。
- 日本語でメモ程度に書くように指導することでメモを頼りにしなくても英語で話せるようにさせる。

### ディスカッションの際のポイント

- ①自分の立場を明確にして考えを伝えている。
- ②自分の考えの理由を伝えている。
- ③複数の理由や根拠（資料や経験）を示している。
- ④相手の考えを受けとめている。
- ⑤相手の考えやその詳細を聞き出す質問等をしている。
- ⑥つなぎ言葉やあいづちなどで会話を継続する工夫をしている。

3分

- ペアでワークシート（別紙3-2）を見せあいながら話す内容を共有する（ディスカッションをするグループとは別の生徒とペア）



横のペア：発話内容の確認  
縦の3人：タスクのグループ

- ペアの相手が自分と同じ立場の場合は、それぞれの理由を共有し、参考にさせる。また、違う立場の場合は、相手の考えを聞いて、どのような反応や質問をするかを考えさせることで、会話が展開できるようにする。

③Better Better Talk

やり取り及び  
中間指導 1～4

2分

- やり取り 1  
3人グループで2分間のディスカッションを行う。

- タスクに入る前に、ディスカッションの際のポイント①～⑥の内、特に⑤に留意してやり取りを展開するよう声をかけることで、意識づけさせる。
- 会話が止まっているグループには、グループ全員が自分の考えとその理由を述べることができたかを確認し、まだ述べていない生徒がいる場合は別の生徒に質問するよう促す。

6分

- 中間指導 1  
ディスカッションの際のポイント⑤ができていたかを確認する。

- ポイント⑤を意識し、相手の考えやその詳細を聞き出すために、どのような質問等を用いたのかを生徒から引き出し共有することで、全体の学びにつなげる。
- ポイント⑤ができなかった生徒に対して、モデル対話のスクリプトやディスカッションのサポートシート（別紙1-3）を参考にさせながら、ポイント⑤に当たる

|    |  |  |  |
|----|--|--|--|
| 2分 | <ul style="list-style-type: none"> <li>やり取り 2<br/>グループのメンバーを変えて2分間やり取りを行う。</li> </ul>      | <p>表現を確認し、次のやり取りでの使用を促す。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>話を無言で聞いているグループに対して、相手の発話に対してリアクションを返したり、相手の考えやその詳細を聞き出す質問等を用いたりするよう声掛けをする。</li> <li>次の中間指導で模範として示すために、相手の考えやその詳細を聞き出す質問等をしながらやり取りが展開できているグループを把握する。</li> </ul> |  |
| 8分 | <ul style="list-style-type: none"> <li>中間指導 2<br/>ディスカッションの際のポイント⑤ができていたかを確認する。</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>模範となるグループのやり取りを見せることで、相手の考えやその詳細を聞き出すために、どのような表現を用いて質問等をしているのかを理解させる。さらにポイント⑤以外のポイントについてもできたことや、使えた表現を確認し、次回のやり取りの参考にさせる。</li> <li>言いたくても言えなかった表現を全体共有することで、表現の幅を広げる。</li> </ul>            |  |
| 3分 | 6 会話内容のリフレクション<br>ディスカッションで用いた表現を振り返り、次回の学習に生かす。   | <ul style="list-style-type: none"> <li>相手の考えを受け入れる際に用いた表現を板書し、発音させることで、次回のやり取りでも使用できるよう促す。</li> </ul>  |  |
| 3分 | 7 本時の振り返り<br>タブレットで、本時の目標が達成できたかどうかを振り返る。  | <ul style="list-style-type: none"> <li>ディスカッションの際のポイント⑤に留意し、やり取りができたか等を振り返ることで、次回の学習につなげる。</li> </ul>  |  |

単元名 Lesson 6 Why do We Have to Work 1 1 / 1 1 時間  
ねらい 働く意義や目的について、英語でディスカッションできる。

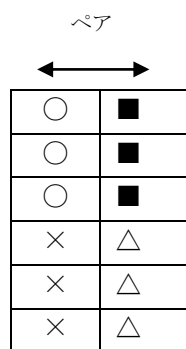
|   | 学習活動  | 指導上の留意点及び教師の支援   | 評価規準<br>(評価方法) |
|---|---|--|----------------|
| 1分  | 1 導入<br>・ あいさつ  |  |                |
| 1分  | 2 本時のめあてを確認する。  |  |                |
| <div data-bbox="263 443 1380 568" style="border: 1px solid black; padding: 5px;">                     ディスカッションの際の6つのポイントを踏まえて、働く意義や目的についてディスカッションできる。                 </div>  |   |  |                |
| 5分  | 3 語彙の確認<br>・ 全体で発音と意味を確認する。   |  |                |
| 5分  | 4 やり取りを支える表現のドリル練習<br>・ ペアでドリル練習を行う。<br>(別紙 1-1, 2, 3) (別紙 2)                     | <div data-bbox="790 728 917 790" style="border: 1px solid black; padding: 2px; text-align: center;"> <b>②GRP</b> </div> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 上手く活動ができていないペアには、サポートシート (別紙 1-1, 2, 3) を参考にし、その中から状況に応じて自分で表現を選んで言うように支援する。</li> </ul>   |                |
| <div data-bbox="363 1003 1220 1200" style="border: 1px solid black; padding: 5px;">                     課題： あなたは将来働く時に何を一番大切にしたいですか？                     <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 「生活していく上で必要なお金を稼ぐこと」</li> <li>・ 「好きなことを仕事にすること」</li> <li>・ 「誰かの役に立つと日々実感すること」</li> </ul> </div> |   |  |                |
| 10分   | 5 ディスカッションのタスク<br>・ 資料 8 の内容を把握する。<br><br>・ ディスカッションの際のポイント①～⑥を確認しながら話す内容と展開を考える。 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 上記の3つのそれぞれに係る資料を提示することで、いずれの立場においても自分の考えの根拠をもちやすくさせる。</li> <li>・ まずは個人で資料の内容を読み取る。その後全体で確認することで、資料の内容を理解した上で、自信をもって発話できるようにする。</li> </ul> <div data-bbox="817 1563 1141 1626" style="border: 1px solid black; padding: 2px; text-align: center;"> <b>①キャッチボールワークシート</b> </div> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 本時はディスカッションのポイント①～⑥の全てのポイントを踏まえてやり取りを行うことを伝える。</li> <li>・ ワークシート (別紙 3-2) に、話す内容と話の展開を整理させることで話す前に予め内容を想定してタスクに取り組むことができるようにする。</li> <li>・ 日本語でメモ程度に書くように指導することでメモを頼りにしなくても英語で話せるようにさせる。</li> </ul> |                |

### ディスカッションの際のポイント

- ①自分の立場を明確にして考えを伝えている。
- ②自分の考えの理由を伝えている。
- ③複数の理由や根拠（資料や経験）を示している。
- ④相手の考えを受けとめている。
- ⑤相手の考えやその詳細を聞き出す質問等をしている。
- ⑥つなぎ言葉やあいづちなどで会話を継続する工夫をしている。

3分

- ・ ペアでワークシート（別紙3-2）を見せあいながら話す内容を共有する（ディスカッションをするグループとは別の生徒とペア）



横のペア：発話内容の確認

縦の3人：タスクのグループ

- ・ ペアの相手が自分と同じ立場の場合は、それぞれの理由を共有し、参考にさせる。また、違う立場の場合は、相手の考えを聞いて、どのような反応や質問をするかを考えさせることで、会話が展開できるようにする。
- ・ ディスカッションのポイント①～⑥を踏まえた発話が想定できているかを確認することで、再度ポイントに対する意識づけを行う。

③Better Better Talk

やり取り及び  
中間指導1～4

2分

- ・ やり取り1  
3人グループで2分間のディスカッションを行う。

- ・ 会話が止まっているグループには、グループ全員が自分の考えとその理由を述べることができたかを確認し、まだ述べていない生徒がいる場合は別の生徒に質問するよう促す。

5分

- ・ 中間指導1  
ディスカッションのポイント①～⑥ができたかどうかを確認する。

- ・ 次の中間指導で全体共有するために、言いたいことが上手く言えていない様子の生徒を把握する。
- ・ ディスカッションのポイント①～⑥を踏まえてやり取りができたかどうかをワークシート（別紙3-2）にチェックを入れて確認させ、できなかった部分について再検討させる。

2分

- ・ やり取り2  
グループのメンバーを変えて2分間やり取りを行う。

- ・ 次の中間指導で模範として示すために、ディスカッションのポイント①～⑥を踏まえながらやり取りができたグループを把握する。

8分

- ・ 中間指導2  
① ディスカッションのポイン①

- ・ ディスカッションのポイント①～⑥を踏まえてやり取りができたかどうかを、

|                     |   |  |  |
|---------------------|---|--|--|
| <p>3分</p> <p>2分</p> | <p>～⑥ができたかどうかを確認する。</p> <p>②模範となるグループの対話から表現方法などを学ぶ。</p> <p>・ やり取り3<br/>グループのメンバーを変えて3分間やり取りを行う。</p> <p>6 会話内容のリフレクション<br/>ディスカッションで用いた表現を振り返る。</p> | <p>ワークシート（別紙3-2）に再度チェックを入れて確認させ、自己の成長を実感させるとともに、できなかった部分について再検討させる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>ディスカッションのポイント①～⑥を踏まえてやり取りができたグループを把の事例を見せ、表現の参考にさせる。</li> <li>ディスカッションのポイント①～⑥を踏まえてやり取りができたかどうかを、ワークシート（別紙3-2）に再度チェックを入れて確認させ、自己の成長を実感させる。</li> <li>中間指導で提示した表現のうち、汎用性の高いものに焦点化して指導することで、単元末のパフォーマンス課題においても使用できるようにする。</li> </ul> |  |
| <p>3分</p>           | <p>7 本時の振り返り<br/>タブレット端末で、本時の目標が達成できたかどうかを振り返る。</p>   | <ul style="list-style-type: none"> <li>ディスカッションの際のポイントに留意し、会話を展開することができたか等を振り返ることで、次回の学習につなげる。</li> </ul>  |  |